

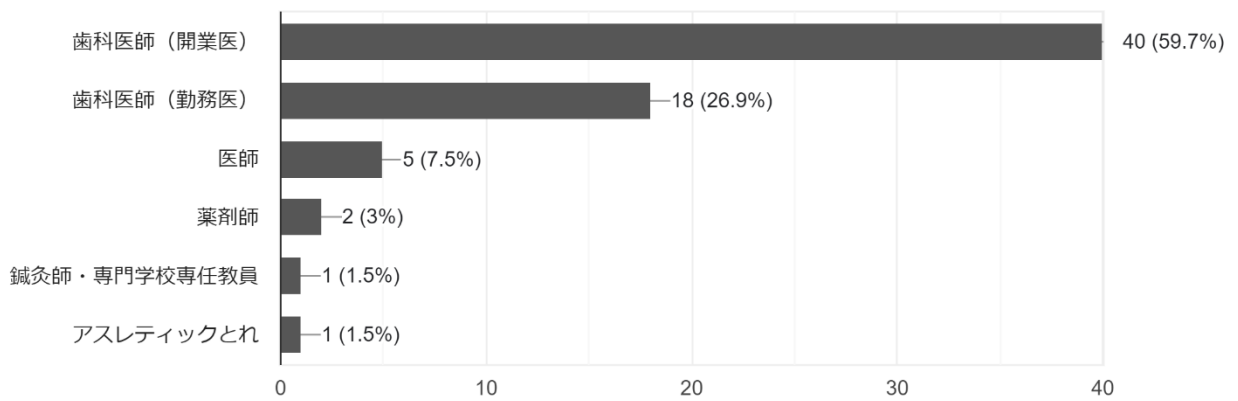
第3回 歯科医のための Headache Academy ～三叉神経・自律神経性頭痛（TACs）の診かた～ アンケート集計結果

2022年12月4日（日）13:00～16:00（ハイブリッド開催）

参加者数 計 109 名 （オンライン 92 名 現地参加 8 名 登壇者 9 名）

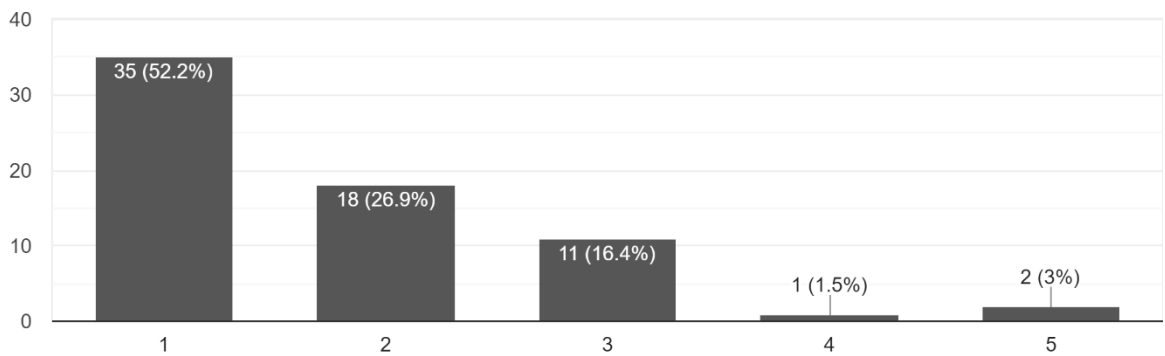
1. あなたの職種について教えてください。（複数回答可）

67 件の回答



2. 今回のセミナーの感想をお聞かせください。

67 件の回答

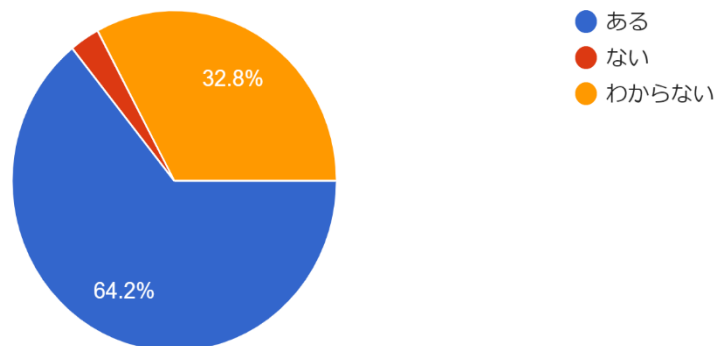


とてもよかった

まったくよくなかった

3. 今後、歯科口腔外科領域における慢性痛診療に...機関（25施設）との連携にご興味はありますか？

67件の回答



4. 歯科口腔外科領域における慢性痛と集学的診療に関するご意見をお願いいたします。

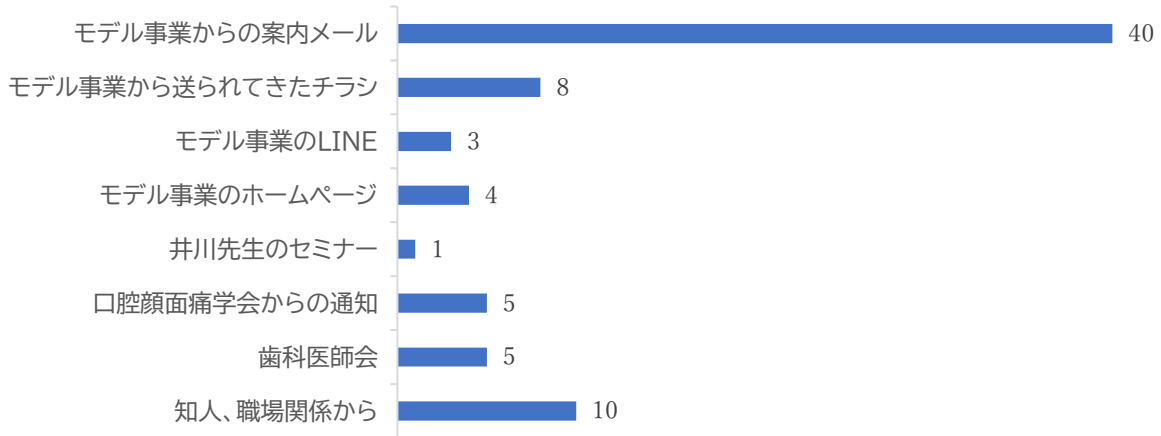
- ・領域や保険診療内の処方の問題も触れていただきありがとうございました
- ・定期的に必要である
- ・医科・歯科が二分されていて治療が進みにくい現状の改善ができるといいと思います。
- ・歯髄炎との違いを鑑別することが困難だと感じました。
- ・定期的な意見交換会が開催されると良いと思います。
- ・多くの歯科医師がこのような情報を知ってほしい
- ・歯科医師ですが知らないことが多すぎてはずかしいくらいです。
- ・現時点では限られた施設でしか行うのが難しいと思う。
- ・医科と歯科の協力が必要である。歯科医師にも啓蒙しないといけない。
- ・歯髄炎が TAC s 様の痛みがあることや、両側性の群発頭痛症例や、CGRP 関連抗体薬の群発頭痛への効果が興味深かったです
- ・特になし
- ・頭痛と歯科関連疾患、に注意をしてこれからの診療にあたります。 整形外科医より。
- ・地域の拠点病院と医療連携モデルを構築していただきたいと思います。
- ・参考になりました
- ・歯痛の診断をしっかりと
- ・Web とリアルのそれぞれで集学的治療のチームに参加できるような仕組みがあればよいと思います。いまもある程度はあるのでしょうか。

- ・医科と連携する上で、コンサルトする医師が決まっている良いと思います。
- ・集学的診療に関してはハードルを高くせずできるところからどんどん進めていっていただけるとありがたいです。
- ・内容が高度で難しかったですが勉強になりました。
- ・歯科以外の方々の意見を勉強させていただいております
- ・今後ともこの様な研修会を何卒宜しくお願い申し上げます。
- ・頭痛を診療する先生と一緒に診療できる環境を作ればよいと思いました。
- ・臨床に役立つと考えます
- ・積極的に連携の必要性を啓蒙、啓発両輪で考えたい
- ・歯科口腔外科領域における慢性痛と集学的診療の知識は今後ますます重要になると思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・多くの医療従事者の連携が必要となる集学的診療に関する意見交換は必要でこの様な勉強会はためになります。
- ・いずれにせよ専門医との連携が重要と思います。
- ・歯科医師の学生教育レベルの知識では対応出来ない事が大半を締めるので、各専門分野の先生から指導をしていただき、協力しながら進められる環境がもっと全国的に整うことを期待します。
- ・継続的な学習が必要
- ・訴えによって、浅学の身であるので三叉神経痛や歯科心身症と考えて、紹介していました。
- ・痛みの除去を心掛けたいし、非力な部分をチームで担うのはありがたい
- ・自分自身の知識や提供できる医療サービス（紹介先など）整理整頓をまずします。
- ・関心はありますが、私の自身の知識・技能が全く不足しています。
- ・緩和治療ケアは他科との連携と連続的なアプローチの必要性
- ・今回のようなセミナーを通じてでも頭痛専門医と連携がとれればよいと思いました。
- ・今回、薬物以外の治療が語られなかですが効果がないということでしょうか効果が無いということでしょうか無いという
- ・特に意見はございませんが、そのような講演がございましたら、拝聴したいと思います。
- ・本セミナーでも日々の臨床につながる貴重な情報をいただきました。感謝申し上げます。
- ・使用できる薬剤の拡大
- ・特になし
- ・ある程度の診断は付けられても、治療は専門家に送るべき
- ・紹介先が少なく困っている
- ・医科の専門的な疼痛の話が多かったように感じます。歯科に特化した研修会があればなおいいかと感じました。
- ・各地域に置いても、医科歯科連携が必要で、各分野での研鑽と連携強化が必須。顔の見える関係から垣根なしに連絡が取れるようになれば、患者さんがたらい回しにならず、路頭

に迷うこともなくなるはずと感じます。

- ・お互いの違う分野の専門家が謙虚に学び合う姿勢が大切と考えています。
- ・紹介する医師をどう見つければいいのか
- ・集学的診療の意味がわかりませんが、痛みを経過を見ることが診断に大切と思いました
誤診をしないためにもこのような知識は大切だと感じた
- ・必要ではあるが、一般病院では実施が難しい
- ・必要にせまられている
- ・地域の開業医との情報共有がひつよう。
- ・よくまとまった講演でした。レジュメを読み返します。
- ・慢性痛に関する知識不足を感じた。また医科治療方針について学習すら必要性を感じた。
- ・本日はお忙しい中、貴重な時間を頂戴しまして有難うございました。痛みでイライラしている患者さんに歯髄炎の症状に移行するまでの間、本日のセミナーで学んだ事を生かして、適度に寄り添いながら励ましたいと思います。歯髄炎になる患者さん(外傷等が原因の事も有りますの一部)は、清潔な生活が出来ないタイプなので尚更心掛けるようにいたします。現状は一握りの歯科医師達のみで集学的診療に対応しているのを見ております。僭越ながら歯科医師は、もっと勉強して欲しいです。
- ・症例検討会のご予定は？
- ・またこのような歯科医師向けのセミナーをご開催ください。
- ・患者が訴える緊急を要する頭痛とそうでない頭痛の判断についてすでに講演済かもしれませんがまた教えて頂きたいです。
- ・やはり一開業医としては対応の難しい症例が今後増しそうに思う
- ・地域連携が行いやすいような病院リストがあると助かります
- ・紹介先がなかなか無くまた分からないため、症状のある患者に出会ったときに困っている
- ・偏頭痛や群発頭痛について専門医療機関と連携するために、アピールすることが必要と考える。
- ・独学で勉強して診療している現実。集学的診療の門戸を早期に広く開放して欲しい。
- ・日常診療において歯科疾患と TACs とを間違わないようにしっかり診断しようと思いました。
- ・特にありません。
- ・地域内で口腔外科と診療所の合同(可能であれば医科も含めて)で勉強会を開催して連携を密にしては如何か

5. 本セミナーをどこでお知りになりましたか？



6. 備考欄（ご質問などございましたらご入力ください）

- ・またこのような勉強の機会を作ってほしい。
- ・大変勉強になりました。企画して下さいました関係者の先生方、講師の先生方に感謝しております。ありがとうございました。
- ・紹介先の目処がついたのはありがたいです。
- ・恥ずかしながら勉強不足でついていけませんでしたが、視野が広まりとても勉強になりました。貴重な学びの機会を有難うございました。
- ・今日はありがとうございました。今回、初めて受講させて頂きました。とても勉強になり、ありがとうございました。また、次回も受講致したいと思いました。
- ・内容がかなり難しかった
- ・お世話になっております。可能な限り勉強させて頂きたく存じます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。
- ・歯科医師会からの告知の仕方、啓蒙のセミナーと思っていたが、専門家の意見交換等の場のように参加して良いのか疑問だった。